



7 月中旬以降の連続した高温でハダニ類・シンクイムシ類の被害が発生しています。被害がひどい場合は今回の定期防除を前倒しする等の対策を講じてください。詳しくは下記を参考に進めてください。

## ◆ 西洋梨の定期防除（他品目への飛散に十分注意してください）

### 🌸 8 月中旬の薬剤散布（前回より 15～20 日後）

散布時期	8 月 10 日～20 日 <b>*注意事項②参照</b>	◆ 散布日：8 月 日
散布薬剤	水 1000 当り	◆ 散布量： リットル
	展着剤 10ml	
	キノンドーフロアブル 100ml（3 日前、9 回） <b>*注意事項③、④参照</b>	
	🎭 イカズチWDG 66g（前日、3 回） <b>*注意事項⑤参照</b>	
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、カメムシ類、（ハダニ類）	
散布量	10 アール当り：600 以上 <b>*注意事項</b>	
注意事項及び ハダニ類対策	<p>① オーロラ等の最終防除。</p> <p>② <b>ハダニ類の発生園は、コロマイト乳剤の 1000 倍（前日、1 回）を加用する。</b></p> <p>③ キノンドーフロアブルに代えてオキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）でもよい。有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内です。</p> <p>④ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてから SS 等のタンクへ投入する。</p> <p>⑤ <b>イカズチ WDG は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。</b></p> <p>⑥ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。葉やけの起きやすい条件、①薬剤散布直後の降雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。</p> <p>⑦ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。</p>	

（参考）次回（9 月上旬）薬剤散布予定：9/5～10 頃（前回より 20 日後）

### 🌸 ナシ類の 8 月の重点管理作業

- 西洋梨の腐らん病対策  
病斑を見つけ次第、削り取り処理や切除を行い、傷口にトップジンMペースト等を塗布する。
- 夏季誘引（この時期に積極的な実施を！）  
次年度の花芽着生促進と側枝を太らせないために積極的に実施する。主枝候補を誘引する場合は、**南水・オーロラ等は 45 度、ラ・フランスは 30 度**を目安に誘引する。また、繁茂状態の園では、徒長枝を適度に切除し、園全体に光が入るようにする。
- 土壌水分管理（5 日以上降雨がない場合はかん水の実施を！）  
極端な土壌の乾燥は果実肥大や果実品質に大きく影響します。盛夏期に 5 日以上降雨が無い場合は、1 回のかん水量を 20～35 mmを目安に定期的に実施する。また、土壌乾燥防止のため、樹冠下に敷きワラ等のマルチ等を行ってください。
- 雑草管理（はやめに処理しましょう！）  
バスタ液剤を使用する。（水 100l にバスタ液剤 500ml 目安）

◆ **和梨の定期散布情報は裏面をご覧ください。**

◆ **和梨の定期防除** (他品目への飛散に十分注意してください)

【有袋・無袋】8月上旬の薬剤散布 (前回より15日後)

散布時期	8月5日～10日 *注意事項②	◆ 散布日：8月 日
散布薬剤	水 100 <sup>リットル</sup> 展着剤 20ml キノンドーフロアブル 100ml (3日前、9回) *注意事項③ ④ オリオン水和剤40 100g (3日前、2回) *注意事項④、⑤	◆ 散布量： リットル
対象病虫害	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、(ハダニ類)	
散布量	10アール当たり：450 <sup>リットル</sup> 以上散布	
注意事項及び ハダニ類対策	① 収穫前散布規制のため、早生種の愛甘水等には散布しないこと。 ② <b>ハダニ類(成虫)の発生が目立つ場合は、8月中下旬散布予定のコロマイト乳剤1,000倍(前日、1回)を練り上げて混用散布する。</b> ③ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてからSS等のタンクへ投入する。 ④ シンクイムシ類・アブラムシ類の被害が目立つ場合は、オリオン水和剤40に代えてバリアード顆粒水和剤 <b>2,000倍</b> (前日、3回)を使用する。 ⑤ <b>オリオン水和剤40は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。</b> ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

(参考) 有袋・無袋8月下旬の薬剤散布予定：8/20～25頃 (前回より15日後)

(注目) **石梨果の除去について**

曇天後の強日照により、7月中旬から無袋栽培を中心に日焼け果が多発しています。特に着果位置が上向き果実に多く見られます。この時点で日焼け程度がひどい果実(通称：石梨)は、成熟期に入っても、果肉が硬く、渋みが強いため、出荷用には不向きです。主力の南水・あきづきの収穫まで1ヵ月以上あります。今のうちに石梨果の除去を行ってください。